

第1回 学校運営協議会

令和6年5月28日

1 協議Ⅰ

- (1) 本校のグランドデザインについて説明
- (2) 学校行事と生徒の生活状況について説明

・本校の学校運営の基本方針にご理解いただいた。
・学校の現状や課題について、情報共有を行った。

2 授業参観・校内視察

・ICTの利用が積極的に行われている。
・授業におけるアウトプット活動(協働学習)が定着している点が良いと感じる。

3 協議Ⅱ

- (1) 学校運営協議会制度について説明

・学校運営の基本方針を承認すること、学校運営や教育活動に意見を述べるができること
・地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを共有するために熟議を重ねること
・学校運営に地域の人々が「参画」し、共有した目標に向かって「協働」して活動していくこと
・地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていくこと
など、学校運営協議会制度について、改めて確認した

- (2) 地域との連携について

・十王学区はエリアが広い。コミュニティも多いのでどう学校と連携していくかが課題。
・随時相談できる体制を構築していきたい。

- (3) 部活動の地域移行について

・土日の部活動がなくなるとプロを目指すような子どもや上位大会を目指す子どもの受け皿が必要になる。今後、地域として考えていく必要がある。
・部活がなくなると様々な影響がある。代わりになるような受け皿やサークルのような活動が準備できれば地域活性化(学校活性化)のチャンスともいえるので、今後の在り方を考えていく必要がある。
・十王地区は地域への愛が強い。そこを上手く活用できるよう検討していく。
・十王出身の高校生や大学生など、若い人材と学校の交流の場を設ける手も検討していく。
(学習スペースの提供や中学生との学習交流なども含めて)
・部活動地域移行に向けて、文化的活動の団体もできるのが理想。十王地区は、協力的な方が多い。そういった人材を活用できるような手立てを検討していく。
例:ある高校の例として・・・放課後に「お菓子作り」をしていることが紹介された
例:生涯学習センターでは、プログラミング教室を行っている。